

遍路道と望郷のまちで

あたたかい人間ドラマの
原点はここにあった。

お遍路を迎える四国では昔から人間味豊かな「おせっかい」文化がある。とりわけ瀬戸内の温暖な気候とのどかな自然に育まれた伊予地方の人々は、どこかのんびりとした気質で、人情に厚いといわれている。

『花へんろ』『夢千代日記』をはじめ

め、数々の名作ドラマを生み出した早坂暁は、昭和4（1929）年にその愛媛の温泉郡北条町（現松山市北条）の遍路道に面した場所で生まれた。当時、生家は一族でその頃の百貨店の役割を担う勸商場（かんしょうば）を営み、子どもの頃から早坂にとってお遍路に触れることが日常だった。

旧制松山高等学校（現愛媛大学）

を卒業後、

東京大学医学部に合格するが、医学に興味はわかず、日本大学芸術学部に進む。

この決断が、



勸商場のある辻には「花へんろ」の碑が建つ。

大学卒業後は新聞社を経て、いけばな評論家として活動、ドキュメンタリーを中心に放送作家の道を選び、テレビや映画の世界に入っていく。早坂の作風には、巧みなストーリーメイクとともに、いつも庶民の視線がある。日常を懸命に生きるふつうの人々に対するやさしくあたたかい思いがある。



早坂を偲びながら、「花へんろ橋」を渡る。

早坂の体験をもとにしたNHKのテレビドラマシリーズ「花へんろ」は代表作になった。生家の近くに架かる橋は、地元の小学生により「花へんろ橋」と名付けられた。



早坂暁と伊予北条

〔愛媛県〕



鹿島公園渡船
松山市北条辻1605 ☎089-992-1375、7:00～21:00、P有

鹿島には大鹿の乗った船で、片道約3分で渡れる。周遊船も運航している。

海に浮かぶ旅館から北条のまちを眺める。



鹿島にある旅館は北条のまちにある太田屋旅館の鹿島店。早坂は座敷から名物の鯛めしを味わいながら、ゆったりと海越しのまちを眺めていたという。

太田屋旅館鹿島店
松山市北条辻1596-3 ☎089-993-0012
※4月下旬から10月末まで営業

親友・渥美清との友情の碑が並ぶ。



「あつみちゃん」「ギョウさん」と互いを呼び合ったふたりは、何度も鹿島に足を運んだ。船着き場近くにはふたりの句碑が建つ。手前が渥美、奥が早坂。



周囲約1.5キロ。歴史と自然の宝庫、鹿島を回ろう。



島内には鹿島神社をはじめ、見どころが豊富だ。展望台からは瀬戸の海が広がり、夫婦岩も望める。島内に生息するキュウシュウヅカを保護している。ひとつ息つくなら、カフェもある。

北条に寄ったら、これは外せない。必食の「北条鯛めし」。

愛媛では、切り身の鯛に出汁と溶き玉子で食べる宇和地方の鯛めしも有名だが、当地の「北条鯛めし」は、豪快にまるごと一匹を釜に入れ、そのうま味を生かして出汁昆布だけで炊き上げる。神功皇后が朝鮮出陣で、鹿島に立ち寄った際に献上したとの伝統を持つ郷土料理で、これを目当てに遠方から訪ねる人も多い。早坂も大好物。



太田屋旅館北条店
松山市北条774 ☎089-993-0021
水休※11月上旬から4月中旬まで営業
◎窯炊きの北条鯛めしは要予約



早坂 暁 (はやさか あきら)

昭和4(1929)年～平成29(2017)年

本名は富田祥資(よしすけ)。脚本家、小説家として人情味豊かな数々の名作を生み出す。故郷の松山を舞台にした作品も多い。

松山にある市立図書館

早坂作品を閲覧できる。地元の北条図書館では故郷に思いを寄せる早坂のエッセイなども残る。旅に出かける前には、企画展の予定なども事前にチェックしておきたい。



松山市立北条図書館
松山市河野別府941文化の森公園内
☎089-993-2281、9:30～18:00、
月休(祝日は開館)、P有



松山市立中央図書館
松山市湊町7-5
松山市総合コミュニティセンター内
☎089-943-8008、9:30～20:00、
月休(祝日は開館)

読みたい一冊

やさしさの中にある現実に対する静かな怒りなど、人間・早坂の魅力に触れるエッセイ集。みずき書林。



ひと休みトーク

Tabi no Bookmark

「あなたたちに伝えたいこと」

早坂は、地元の北条北中学校に対して、1000文字にもなるメッセージを寄せている。戦争体験が風化し、さらに自殺や虐待が多くなる世の中に対し、平和への祈りや生きる尊さを託している。故郷を愛し、次代を担う子どもたちに向けた「最期」のメッセージとなった。

「あなたたちの前には未来と大きな可能性があります。(略)

ひとりひとり、何をしたい人間になるか、何ができる人間になるかを考えて、これからの人生を歩んでほしいと思います。」と結んでいる。

